

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【かんしょ】千葉県 石毛さん

先代から受け継ぎ、 今では絶対に欠かせない存在。 実績があるから使い続ける。



先代から受け継いだネマトリンエース粒剤。
毎年欠かさず使い続けています。

先代であるおじい様の跡を継いで12年になる、千葉県香取市の石毛さん。約1.7haのかんしょ畑で紅あずまを栽培しています。

ネマトリンエース粒剤は先代が使い始めましたが、そのきっかけは、昔線虫被害に遭った時に近所の生産者から「ネマトリンエース粒剤を使った方が良いぞ」と勧められたことだそうです。石毛さん

が就農した時にも、先代から「使いなさい」と言われて以来使い続けています。「これまで大きな線虫被害に遭うこともなく、かんしょの品質が変わらずに保っています」と効果を実感されています。

ネマトリンエース粒剤を使うタイミングについてお聞きすると、「3月末から4月の頭にかけてネマトリンエース粒剤を全面散布し、ロータリーで耕した後、マルチを貼るという流れです。土壌全面に均一に散布して丁寧に混和すると効果が安定するのでそうしています」と教えてくれました。土壌くん蒸剤も併用していますが、ネマトリンエース粒剤は絶対に欠かさないので、「使っていないと怖い」と話すほど信頼していただいています。



*剣は合成です。

良い土作りにこだわって、
笑顔でかんしょを作っていきたい。

かんしょ栽培では土作りにこだわるという石毛さん。ポイントを詳しくお聞きすると、「堆肥や米ぬかを入れたりして、なるべく土が痩せないようにし、作物を作る力がなくならないように心がけています」とのこと。「ネマトリンエース粒剤は今までの実績や安心感があるので、使い続けると思います」と嬉しいお言葉をいただきました。

現在36歳と、まだまだお若い石毛さんにこれからの目標を伺いました。「新しい機械も積極的に導入したいです。また、かんしょの出来が悪い圃場などを減らして無駄なコストを削減しながら、より品質の高いものを作っていければいいなと思います」。

また、バイクが趣味で、過去にはスケートボードに打ち込んでいたというアクティブな一面も。「趣味もかんしょの生産も、どちらも笑いながらやっていけたらいいですね」と明るく話してくれました。

※取材時(2024年1月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 普及部 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は
webでもご覧
いただけます